

故事成語

○「漁夫の利」 ー 両者^① ↓ 第三者^② 利独占

○「五十歩百歩」 ー 本質的には差^③

○「守株」(株を守る) ー 古^④の習慣にとらわれ進化^⑤ 融通^⑥ できない

○「炊の膏」 ー 人生の学業は短い。一瞬の学業

○「薪嘗胆」 ー 苦難を忍びが 敵討ち

○「中身を執る」 ー 仲の顔になる。団体^⑦の中心^⑧となって自分の思^⑨を

○「玉石混交(淆)」 ー よいものと劣ったものを混合 区別X

○「賞雪の功」 ー 苦学しながら学問^⑩ ↓ 成功

○「鼎の軽重を問はす」 ー 王位を争いながら、人の実力^⑪ 疑問

○「画竜点睛」 ー 肝要な最後の仕上げ。↓ 受けとめること「画竜点睛」
を更(に)

○「杞憂」 ー 取り越して苦常

○「捲土重來」 ー 敗者勢いを盛り返す

○「呉越同舟」 ー 仲悪い者 同じ場所 居合わせろ

○「五里霧中」 ー 思^⑫の事^⑬ 思^⑭の案外にされる

○「助長」 ー 手助け(政事)は「成長を早めて積らす」

○「蛇足」 ー くだ

○「予盾」 ー つじつま合わない

○「四面杯足歌」 ー 敵中で孤立

○「塞翁が馬」 ー 幸・不幸は予測できない。

○「切磋琢磨」 ー 向上に励む

○「朝三暮四」 ー □先で人を騙ります

○「登竜門」 一三三 立身出世への難い関門。

○「虎の威を借りる狐」 三 強い者に頼っていける。

○「推敲」 一三三 詩文の字句を練り、書きなめていくこと。

○「他山の石」 三三 他人の取るに足らない言動(批評)が

自分の向上の助けになる。

○「大器晩成」 三三 大人物は年をとってから大成する。

○「背水の陣」 三三 決死の覚悟で敵にあたる。

○「舟に刻れて剣を求む」 三三 頑固、融通がない時の推測を知らない。

○「竜頭蛇尾」 三三 最初「勢」(盛) ↓ 最後「勢」(衰)